

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(以下JAXA)と国立研究開発法人 海洋研究開発機構(以下JAMSTEC)の全面的な協力のもと、「未知への挑戦～夢を追う人々～」をテーマに開催される「海と宙の未来」展。実際のロケットエンジンをはじめ、ロケットや調査船の大型模型、小惑星や深海の映像により、生活圏の拡大、深海へ宇宙へ、そして、生命の起源、深海か宇宙かという研究成果を紹介。また、本物の星空が持つ奥行きと広がり、再現を可能にした、世界初のプラネタリウム MEGASTAR(スーパープラネタリウム)も登場します。今回は、JAXAの理事長 山川宏氏、JAMSTECの理事長 平朝彦氏、MEGASTAR(スーパープラネタリウム)の開発者である有限会社大平技研代表取締役大平貴之氏に、この企画について伺いました。

宇宙飛行士による講演会も計画中。詳細は決定次第公開予定!

宇宙航空
研究開発
機構

JAXA



「はやぶさ2」の打ち上げ ©JAXA



宇宙航空研究開発機構 理事長
山川 宏氏 インタビュー

プロフィール

平成 5年3月…東京大学大学院 工学系研究科航空学 専攻博士課程修了
4月…宇宙科学研究所
平成18年9月…京都大学生存圏研究所教授
平成22年7月…内閣官房宇宙開発戦略本部事務局局長(兼任)
平成24年7月…内閣府宇宙政策委員会委員(兼任)
平成30年4月…宇宙航空研究開発機構理事長就任



公益財団法人
大分県芸術文化スポーツ振興財団
理事長 **佐藤 禎一**
(ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、
東京国立博物館名誉館長)

「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の会期中に、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団では、iichiko総合文化センターや大分県立美術館を会場に多彩な催し物を開催。過去、現在、未来へと継承されるわが国の至宝と最先端技術の粋を幅広く紹介します。

「海と宙の未来」展では、未知への挑戦「夢を追う人々」がテーマになっていますが、JAXAでは、実際どのようなことに挑戦されているのでしょうか?

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、2003年に発足して以来、宇宙航空分野の基礎研究から開発・利用に至るまで一貫して行う機関として活動しております。

主な取り組みとして、地上と宇宙を結ぶロケットの開発・打上げ、災害対策や温暖化など地球規模の課題解決に貢献する人工衛星の開発と運用、日本人宇宙飛行士等による国際宇宙ステーション(ISS)の日本実験棟「きぼう」を使用した様々な宇宙実験、人類の未知の領域を切り拓くための宇宙科学の研究、人やモノの輸送に欠かせない航空技術の研究など、様々な活動を行っています。

JAXAはこれらの活動を通して、二つのことに挑戦しています。

一つ目は、JAXAの事業の成果が社会に活用され根付いていく世界を実現すること、二つ目は、宇宙航空分野の新たな世界を切り開く挑戦的な研究開発に取り組み、日本の宇宙航空分野を先導して行くことです。

今後JAXAは日本全体の宇宙航空分野の発展のため、常に挑戦し続けます。

「今回の展示の見どころを教えてください。」

2014年に種子島宇宙センターから打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ2」がいよいよ小惑星「リュウグウ」に到着します。

「リュウグウ」には、太陽系が生まれた頃今から約46億年前の水や有機物が、今でも残されていると考えられています。地球の水はどこから来たのか、生命を構成する有機物はどこでできたのか。そのような疑問を解き、太陽系の誕生と生命誕生の秘密に迫る「はやぶさ2」の目的です。

今回の「海と宙の未来」展で、「リュウグウ」の全容を含めた最新映像をお届けできるかと思っておりますのでご期待ください。

また、「本物」の持つ魅力と迫力を皆様に実感して頂くため、日本初の純国産大型ロケット(H-IIロケット)の第一段エンジン(LE-7)の実物を展示するほか、ロケット打上げの様子を迫力ある映像と音響でリアルに体験できる企画を実施します。

他にも、2020年に打ち上げ予定の次世代の主力ロケットH3ロケットや現在運用しているH-IIAロケット、H-IIBロケット、イプシロンロケット等の模型や、宇宙飛行士が着る宇宙服のレプリカ等も展示しますので、ぜひお楽しみください。



小惑星探査機「はやぶさ2」旅立ち/イラスト:池下章裕

最後に、「海と宙の未来」展開催に向けてメッセージをお願いします。

「海と宙の未来」展ご開催の由、心よりお喜び申し上げます。

この企画展ではJAXAと国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が共同し、「未知への挑戦」夢を追う人々」をテーマにそれぞれの事業の活動と成果を紹介いたします。

海と宇宙はともに未知のフロンティアであり、両機関の展示をご覧いただくことにより、未知の世界に挑戦することの魅力・面白さを感じて頂けると幸いです。

現在、宇宙空間は、測位・通信・放送、気象観測、防災等の国民生活や社会経済活動を支えるインフラとしての利用も定着しつつあります。また、地球規模課題の解決や人類の知的資産の創出にも貢献するなど、宇宙開発利用は安全・安心で豊かな社会の実現のために必要不可欠なものとなっております。

今後、宇宙航空分野における研究開発及び利用をさらに推進していくためには皆様の理解をより一層得ることが不可欠です。

今回はJAXAの活動を知っていただく絶好の機会ですので、皆様の来場をお待ちするとともに、「海と宙の未来」展の成功を心よりお祈りしております。



LE7 ロケットエンジン ©JAXA



歴代ロケット模型 ©JAXA

開催日 **10/13(土)・14(日)**

[時間] 各日共通 びり有料会員10:00~11:00、一般11:00~16:00 [場所] 別府観光港第4埠頭/別府市北石垣1999 [定員] 友の会びり有料会員300名(各日共通)、一般定員制限無 [参加費] 無料(10:00~11:00の友の会びり有料会員優先見学枠は要事前申込)

友の会びり有料会員優先見学枠申込方法(各日共通)

参加ご希望の方は、メールにてお申し込みください。yokosuka@opam.jp ~ (件名) にイベント名、[本文] に①お名前、②会員番号、③メンバーステージ、④連絡先のお電話番号、⑤希望日をご記入の上、送信ください。※定員に達し次第、締切とさせていただきます。